

増田裕一 委員

私からは、調査事項、それと報告事項の1本目の地域医療体制に関する調査・検討の進め方についてというのに関連して何点か質問をさせていただきたいなと思います。

4月から河北総合病院さんのほうで小児の二次救急医療が始まったということなんですけれども、今現在どのような現状か、わかる範囲で結構ですので教えていただけますでしょうか。

地域保健課長

これまでの状況についてはこちらに報告いただいておりますけれども、適切に運営をされているというふうにお伺いしております。

増田裕一 委員

私ごとになりますけれども、この間、河北総合病院さんに息子が大変高熱でかかったことがありまして、もう12時近くに伺ったんですけれども、本当にあいていてよかったなど、こういう救急医療が杉並区でも実施されるということで大変ありがたいなというふうに思っているわけなんですけれども、杉並区として、これはたしか予特でも質問させていただいたと思うんですけれども、どのような支援体制で臨まれているのでしょうか。

地域保健課長

以前にもご報告しておりますけれども、これは東京都の二次救急に指定されてございますので、東京都のほうの補助と、それから杉並区のほうについても、小児科医1人分という形で今補助させていただいているところでございます。

増田裕一 委員

小児科医1人分ということは、これはお金ということですか。それとも人をつけるということですか。

地域保健課長

委託料でやっております。

増田裕一 委員

この間お伺いしたときも、もう真夜中なんですけれども、ほかの方もいらっしゃいましたし、これはかなり利用されているなど、でも本当に大変だろうなというふうに思いますので、やはり人的な支援というのをおわせて考えていただきたいと思いますと思うんですけれども、そこら辺の見解はいかがでしょう。

地域保健課長

今後も河北総合病院のほうとさまざまな打ち合わせ等の機会がございますので、状況をお伺いしながら、できるだけの支援をしていきたいというふうに考えてございます。

増田裕一 委員

確かにかなり利用されている、この間利用させていただきました印象ではそのような感想を持っていますし、またお隣の中野区でも、中野総合病院さんのほうで指定病院というのを返上してしまうというような出来事もありましたので、これはぜひとも杉並区の体制として守っていただきたいと思います。

あともう1点だけ、女性特有のがん対策の推進についてということなんですけれども、今回、これは国の事業でということなんですけれども、杉並区としてはどのような広報体制で

臨むんでしょうか。

健康推進課長

今後、杉並区でいつごろクーポンを発行できるか、そういったものも含めて早急に検討してまいりますので、それが決まり次第、広報、ホームページ等で周知していきたい、また医療機関も通じて周知していきたいというふうに考えてございます。

増田裕一 委員

当たり前なことなんですけれども、受診率50%で、先ほど区の検診と大分乖離があるということだったんですけれども、今回、対象年齢が限られておりますけれども、若いうちのがんはすごく進行が速いというふうに伺っていますし、私の知り合いも、若くしてがんでお亡くなりになるというケースも見られていますので、この際、対象年齢以外でも子宮がん検診、乳がん検診を受診していただく、そういったような普及、PRというのもあわせて行っていただければなというふうに思います。これは意見ですので、結構です。

以上です。